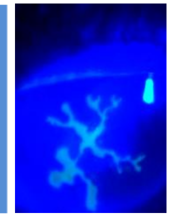
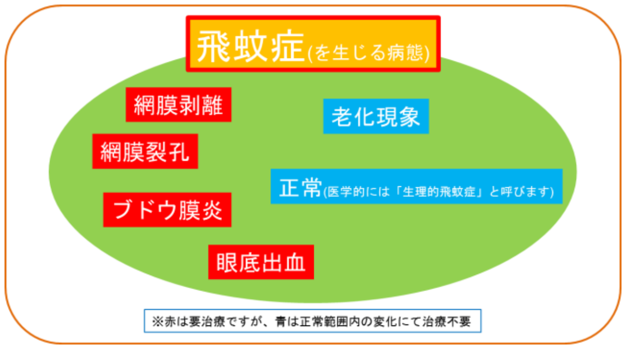
フジタガンカニュース

Vol.59 2015.8.31



「飛蚊症(ひぶんしょう)」は「ひもんしょう」とは読みません❶

さて、今回のフジタガンカニュースは、「飛蚊症(ひぶんしょう)」という言葉についての解説をしてみたいと思います。「実際に目の前には蚊(もしくは「蚊みたいなもの」)がいないのに、あたかも蚊が飛んでいるかのようにみえる状況」の事を読んで字の如く「飛蚊症」と呼びます。また、この言葉は病名といえば病名なのですが、あくまでも「症状病名」なので、飛蚊症＝単一の疾患という事はありません。あくまでも「一定の症状を説明した病名」ということになるので、その症状の原因疾患には重傷・軽傷を問わず「様々な疾患」が含まれます。理解するのは難しいですよねえ？図解すると右のような感じです・・・。赤い病態は治療が必要ですが、水色の病態は「正常範囲内」という事になります。どうでしょうか、ご理解いただけますでしょうか？では、ここからは当フジタガンカニュース恒例の「引用文」コーナーに移りたいと思います。今回は日本眼科医会の HP 上の文章の引用です。また、引用終了後には、藤田からの補足解説を加えたいと思っております。それではどうぞ・・・



@@

黒いものが飛ぶ　飛蚊症

日本大学助教授　湯沢美都子

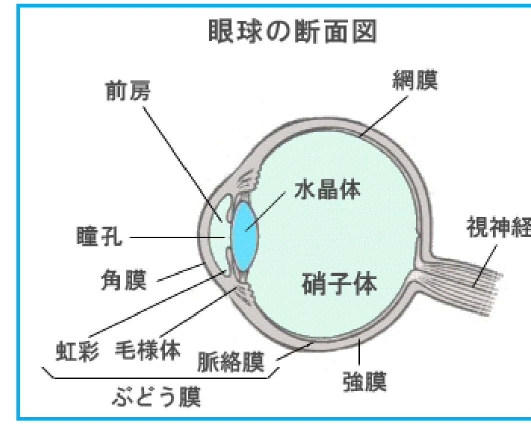
1.　はじめに

ある日突然に、あるいは、いつの間にか目の前に蚊やゴミのような物が飛んで見えたり、雲のようなものが浮いて見えたり、墨を流したように見えたことがありませんか。これが 飛蚊症(ひぶんしょう) です飛蚊症は、あらゆる年齢層に起こりますが、高齢者ほど、特に近視の人ほど多く見られ、多くの場合心配ありません。しかし、飛蚊症は、自覚症状が少なく、視力が低下したり痛んだりしないことが多いので、たいしたことはないと、眼科医に受診せずに放っておいたために、**網膜剥離や眼底出血**などの重大な目の病気を見逃してしまい、失明することがあります。飛蚊症になったら、ぜひ、眼科医の診察を受けることをおすすめします。

2.　飛蚊症のことばの意味

目の前に「**黒いものがとぶ**」ことを眼科では飛蚊症といいます。蚊が飛んでいるように見えるという意味ですが、実際にはこの他に水玉、ハエ、黒いスス、糸くず、お玉じゃくし、輪などが見えることもあります。また黒いものから透明なものまで色もさまざまで、数も 1 個から数個、時に多数のこともあります。これらのものは目を動かすと、ふわっといった感じで目といっしょに動いて見えます。

3. 硝子体について



飛蚊症は、眼球の 硝子体(しょうしたい) に濁りができたためにおこる症状です。そこでまず硝子体のことをお話ししましょう。

硝子体は、水晶体(眼のレンズ)の後方から網膜に達するまでの眼球の大部分を占めています。その中には生卵の白身のような透明でドロッとした物質がつまっています。

目の一番前にある透明な角膜、その後方の前房、水晶体を通ってきた光は硝子体を通過して網膜に達して物が見えるわけです。

4. 飛蚊症は硝子体の濁りによっておこる

本来透明なはずの硝子体に、なんらかの原因で濁りができますと、そのかげが網膜にうつり、目の前に見えるようになります。これが飛蚊症です。

しかし、濁りは実際には目の中にあるのですから、目を動かすといっしょに動きます。また、網膜に近い部位にある濁りほど、よりはっきり見えますし、濁りの大きさや量によって見えるものの形や大きさが異なるわけです。@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

今月の引用文は、誌面の都合によりここまでとなります。まだまだ暑い日が続きますが、学生さん方の夏休みは終了？でしょうか。そろそろ過ごしやすい気温となって来ましたよね！秋は「食欲・スポーツ・音楽・読書…の秋」(なんでも言えちゃいますよねー(笑))。皆さんにとっては、どんな秋でしょうか？

携帯サイト用 QRコード mobile phone

スマートフォン iPhone用 QRコード smart phone

http://www.fujita-ganka.com

今月のお知らせ

今年の秋は都合により担当医の臨時変更と臨時休診があります。
9/19(土)☞藤田院長 9/26(土)☞小竹先生
10/28(水 午後)☞藤田院長
(朝岡講師が学会のため代診)
また、その他に…
10/23(金 午後) と10/24(土)休診
☞院長が学会出席のため
10/30(金 午後)休診
☞院長が第10小学校就学児健診のため
…となります。宜しくお願い致します。

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

✆042(645)0575
✆042(642)2911